

「建設資材物流における生産性向上及びトラックドライバーの  
労働時間改善に関する懇談会【戸建て住宅等分科会】」  
議事概要

1. 日 時

平成31年3月27日（水） 11:00～12:30

2. 場 所

TKP虎ノ門駅前カンファレンスセンター ホール3A

3. 議事概要

- (1) 議題1「アンケート調査等の実施状況について」、議題2「「ホワイト物流」推進運動の建設資材分野における進め方について」、議題3「関係者における最近の取組状況について」、議題4「今後の検討の進め方について」事務局より説明を行い、意見交換を行った。
- (2) 各委員からは、以下のような発言があった。

○IT化は、例えば飲食店業界の食材等の取引において、従来は紙ベースであったのが、最近は電子化が相当進んでいる。色々な業界で最初は上手くいかない話を聞いているが、やれば意外とできたりする。導入当初はハードルが高いものも、まずは検討してみるべきではないか。

○経営者にはコスト削減のための課題として訴えていくべきという事を申し上げているが、もう一方では、現場への配慮も必要である。工務店における受発注の事務処理はFAXが主流で、そういう人達にもメリットがないとIT化は進まない。ある程度IT化に対応できる工務店もあるが、システムを入れても、また新しいシステムが出てきてしまうという課題もある。普段FAXしか使わないような業者にもアピールする事を考えなければならない。

○外国人運転手についても検討をお願いしたい。将来的には自動運転技術の進歩により人手不足の緩和が見込まれるものの、それまでの間は何らかの方法で短期的に補わざるをえない事をご理解願いたい。

○戸建ての建設現場で待機があるとするとプレカットである。現場にクレーンを設置して荷役するので、現場の進捗によって待機の可能性はある。持ち帰りも現実にはある。原因としては手間請けの大工が多いこと。材工請負であればそんなことはないが、手間請け大工は商品を買っているというマインドがなく、都合の悪いときに持っていくと持ち帰れ、ということがある。

- ハウスメーカーの倉庫（物流センター）での荷待ちは発生している。荷待ちの行列ができる倉庫もある。幹線便のトラックドライバーは、夜中に運送して朝方に荷卸しをするというサイクルなので、午後に降ろせと言われても、どう運行するのかとになってしまう。締め時間は前日午後一で、24時間以内納品という短納期サイクルが建材業界の慣習である。これを崩すのは難しいのではないか。
- 新築戸建ての建設現場では、納品先住所の問題がある。納品先住所が地番で指示される事（住居表示がない事）も多い。Google等のインターネット上の地図を活用すれば、比較的新しい地図の下で納品先を探す事も可能だが、それでもおおよその場所しか分からず、納品先周辺を右往左往しながら探す事になる。
- 新築戸建ての建築現場では、建て方部材（構造材）から大工部材（内装材）の順番で搬入するケースが多いが、ハウスメーカーからの現場到着の指定時間が同じ場合もある。そのような場合、内装材等の積載車両は現場から声が掛かるまで付近での待機となるが、待機場所やドライバーの待機時間の問題が発生する。
- ドライバー不足だけでなく、職人不足も顕著である。職人1人で複数の現場を掛け持ちしているケースもあり、指定時間に納品先に到着しても職人が不在となる場合もあり、ドライバーの待機時間の問題に繋がる。
- 現場の納材スペースや職人の作業工程を考えると、工事日の早朝に建築資材を納品して欲しいとの現場要望が多くなる。また、狭小路・狭小地を想定し、積載量が小さい、2トン車での配送依頼も多くなる。これらの事が建築資材物流の共同配送を難しくしている要因となっている。
- アンケートの設問において、「納品時間の変更や緩和」の意味が分かりづらい。「日付の変更」とすればよかったのではないか。
- 大工が荷受けをするので、そこで渡して終わりであり、ドライバーが待機することはないのではないかと思う。住宅の建設現場で3台も4台も溜まることはないと思うので、荷待ち時間はそれほどではないと思う。また、持ち帰りの発生も戸建ての現場では発生していないのではないか。一方、ドライバーによる荷卸し作業の発生はある。戸建ての建設現場ではなく、物流センターに持って行ったときの荷待ちの問題の方が大きいのではないか。
- 建設資材ではメーカーも多岐に渡っており、欠品や納期が揃わないこともある。また、問屋だと発注即納品である。現場は1棟分で決まっていて、納品のタイミングはFAXなどで確認している。FAXとメールで発注情報が入るが、メールは確認漏れがないか心配な部分がある一方、FAXは電話での到着確認が必要。

○戸建て現場では職人が荷を受けるが、外装工事は職人がいないので、ドライバーが置き場を作って卸し、納品書を置いていくこともある。前日午後納品は在庫があるものはできる。戸建ての納品はハウスメーカーが受けた在庫分離と、在庫発注がある。

○拘束時間に配慮した配車を実施しているが、年度末などの季節波動や、雨などの天候などによって偏る。建設期間の割に余裕がない。工期とのリンクができれば理想的であろう。

以 上  
(文責：事務局)